



挑友真
戦愛理

豊岡中だより

第8号

磐田市立豊岡中学校 令和5年12月22日発行

「納得解」(12月22日(金)2学期終業式 鈴木由佳子校長)

令和5年の締めにあたって、みなさんに聞いてみたいと思います。「みなさんは、どうして勉強をするのですか。」少し考えて、隣の人に言ってみましょう。

少し話を変えて考えてみてください。私は数学の教師ですので、数学の問題を出します。

$3+2=\square$ $\square$ に入るのは5ですね。

では、 $\square+\square=5$ $\square$ には何が入るでしょうか。3と2、1と4…。答えはたくさんあって、一つには決めることができません。答えが一つではない問い、言い換えれば、正解を決められない問いは、みなさんの身近にもたくさんあります。例えば、今、生徒会が取り組んでいる「生活のきまりの見直し」もそうです。

世の中に法律や決まりがなくとも誰もが安全で気持ちよく生活できる、そんな世の中であれば、本当に幸せです。しかし、人種や宗教が多様でいろいろな考えの人がいる世の中では、多くの人が気持ちよく暮らすために、ある程度の決まりやルールが必要になってきます。

学校も同じです。安心・安全で、学校としての秩序が保たれ、困っていたり嫌な思いをしていたりする生徒が出ないために、最小限の決まりやルールは必要なのだと思います。しかし、その決まりは、時代や地域、そして、その学校の生徒の意識や行動によって変わってきます。答えは一つではないと思います。だからこそ、自分のことだけではなく周りのことも考えて、みんなが気持ちよく学校生活を送るための豊岡中に合ったルールを、今、生徒会が中心となって、生徒全員で創り上げようとしています。

「今まではこうだった」とか「こうでなければならない」という考えから一步踏み出して、それぞれが自分の考えをしっかりとって、それを周りの人たちと議論してよりよい方法や答えを導き出そうとすることは、とても価値あることです。数学では導くべき答えのことを「解」と言いますが、みんなが考えを出しあい、議論する過程を通して、何か一つのことに取り組んでいこうと、それぞれが納得して決めたことや答えを「納得解」と言います。みなさんがこれから生きていく変化の激しい社会では、正解が一つではない、何が正解かは分からないことにたくさん出会うでしょう。だからこそ、みんなで意見を出しあって、「納得解」を求めていくことが大切になると思います。そう考えると、みなさんは、これからの社会で生きていくのに必要な「正解のない問いに向き合い、解決していく力」を付けていく必要がある、と私は思っています。

- ・いろいろな経験や体験をして、自分の考えをしっかりとつこと。
- ・自分の考えを周りに分かりやすく伝える力を付けること。
- ・周りの人とコミュニケーションを図って、他の人の考えていることを理解しようとする。

こういう力を付けて、自分自身の引き出しを増やしていくことがとても大切なのです。人の言いなりで行動する。ここテストに出るよと言われたことだけを覚える。今だけ楽しく過ごせばいいと思って時間を過ごす。それでは、「正解のない問いに向き合い、解決していく力」を付けていくことが難しいです。だからこそ、目の前の課題を解決していくために、みなさんには勉強が必要なのだと私は思います。人とつながるために、相手のことを理解しようとする思いやりの心をもつこと、状況に合わせた言葉遣いや服装ができるようにすることなども大切な勉強です。

私は、先生方に「生徒に考えさせてください」とお願いしています。みなさんも、安直に正解だけを求めるのではなく、いろいろなことに疑問をもって、考え抜いてほしいと思います。「考え抜く」というのは、この混沌とした社会を生きていくために、皆さんに必要な重要なスキルです。私は、これからも、豊岡中の生徒全員と先生方が意見を出しあって、いろいろなことを考えていきたい。そして、みなさんには、考え続ける豊岡中の生徒であってほしいと心から願っています。



学校評価アンケートまとめ

項目	R5 1学期 生徒	R5 1学期 保護者	R5 2学期 生徒	R5 2学期 保護者
学1【学】わたしは、授業の内容がよくわかる。	93		93.4	
学2【学】わたしは、（お子さんは）道徳を含む授業が楽しいと感じている。	89	78	89.2	68%
学3【学】わたしは、自分から進んで追究したり、他者と共に解決しようとしていたりしている。	85		86.8	
学4【学】わたしは、（お子さんは）課題や提出物の期限を守って提出している。（習慣化されている。）	89	67	87.1	72%
学5【学】わたしは、進んで先生に聞いたり、自分で調べたりして学習している。	77		72.5	
学6【学】わたしは、（お子さんは）身の回りの出来事に対して、自分に引き寄せ、自分に置き換えて考えようとしている。	80	78	82.9	78%
学7【学】わたしは、英会話の力が伸びている。※英会話の力...「ゆっくりでも英語で相手に自分の思いを伝えることができる。また、英語で話す相手の言葉を理解できる。」	83		77.7	
学8【学】わたしは、相手の思いや考えを大切にし、根拠などをもとにして自分の考えや思いをしっかりと伝えている。	90		88.2	
学9【学】わたしは、（お子さんは）物事を多面的・多角的にとらえようとしている。	88	66	87.1	79%
学10【学】わたしは、今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。	65		68.3	
学11【学】わたしは、タブレット端末やコンピュータなどを使って自分の考えをまとめたり、分かりやすく相手に伝えたりすることができる。※今年度は全学年対象（昨年度は3年生対象）	85		85.4	
生1【生】わたしは、仲間と協力し、思いやりの心をもって生活している。	97		96.5	
生2【生】わたしは、（お子さんは）学校生活が楽しい。（満足している。）	91	86	91.6	75%
生3【生】わたしたちの学級（学校）は、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。	92	98	95.5	74%
生4【生】わたしは、登校時刻や2分前着席の時間を守り、規則正しい生活を送っている。	94		94.4	
生5【生】わたしは、仲間の良さに気づき、互いの良さを認め合って生活している。	97		97.6	
生6【生】わたしの学校には、安心・安全な環境がある。	94		95.8	
生7【生】わたしは、場に応じたあいさつや言葉遣いをしている。	97		97.6	
生8【生】わたしは、（お子さんは）制服や校内服の着方、髪型や眉等の学校のきまりを守っている。	98	75	98.3	98%
生9【生】わたしは、（お子さんは）学校に相談できる友達や先生がいる。	88	90	88.5	74%
生10【生】教職員に、お子さんのことを相談しやすい。		80		88%
生11【生】先生は、お子さんのことを理解して指導にあたっている。		86		86%
特1【特】わたしには、よいところがある。	82		82.9	
特2【特】わたしは、まわりの人の役に立ったり、まわりの人から感謝されたりしたことがある。	95		92.0	
特3【特】わたしは、係活動や委員会活動などに責任をもって主体的に取り組んでいる。	93		93.7	
特4【特】わたしは、誰にでも主体的にあいさつし、返し、コミュニケーションを図ろうとしている。	94		90.9	
特5【特】わたしは、ボランティア活動や地域活動へ、積極的に参加しようとしている。	71		74.9	
特6【特】わたしは、目標や夢をもって学校生活（学習や部活動、行事など）に主体的に取り組んでいる。	91		90.9	
特7【特】わたしは、（お子さんは）困難なことに直面してもあきらめず乗り越えたくましさがある。	83	74	82.2	83%
特8【特】学級目標や生徒会スローガンの意味を理解し、学級や豊中学生の一員として、それらの達成を目指している。	93		94.4	
特9【特】行事や参観会（学校公開日）等にできるだけ参加している。		84		78%
教1【教】学校から配付される「たより」や「通信」などに目を通している。		91		82%
教2【教】学校で目指そうとしている子供の姿や教育内容について知っている。		79		75%
教3【教】豊岡中学校区における保こ幼小中一貫教育の内容を理解している。		76		94%

1. 2学期学校評価アンケートの考察・今後の対策

【学習について】 生徒は、1学期については、学8、学10は昨年度の1学期よりも下がってしまっていたが、2学期に入り、1学期よりもすべての項目でも向上しているのは良い傾向である。特に、生徒の学1の「授業がわかる」や学6「自分に置き換えて考える」等が顕著に向上している。生徒に学びのハンドルを任せる授業が成果を上げていると考えられる。ただ、保護者については、1学期、2学期とも、下がってしまった。生徒は上がっているのに、保護者は下がっているということで、授業を含めた活動の成果のアピールがまだまだと感じる。面談や学年便り等で、今後もきちんと伝えていきたい。
【生活について】 生活面も2学期は、すべての項目で向上した。特に、生2の「学校生活が楽しい」、生3の「ルールを守る」はさらに向上してよい傾向である。保護者については、学習同様、昨年度よりも低い評価が出ているが、その中で、生10、生11の「相談しやすい」「生徒を理解して指導できている」が向上したのはうれしい結果である。今後も、生徒、保護者の信頼を高め、これを基盤とした教育を進めていきたい。
【特別活動について】 生徒は、特活に関しては全体的に高い結果が出ているが、特4の「主体的に活動」、特6の「目標や夢をもって」、特7の「困難に立ち向かって」などが向上してきたのは、本校の学校教育目標が具現化できていると考えられる。保護者も特7にあるように生徒がたくましくなっていく様子を実感されている方が増えてきたのはよかった。
【その他】 教1が全体として低下してしまったのは、HPや便りなどを出しているが、まだまだアピール不足であった。今後もこまめに生徒のよいところ、頑張りを発信していきたい。ただ、昨年度の1学期に比較し、低下していた教3の学府の取組についての理解は向上してきている。2学期は、学府あいさつ運動、小中交流会等もあり、学府での活動が保護者にも伝わった部分も多かったと思うので、よい点を今後も伸ばしていきたい。